



nova system

think, challenge, advance

2025年12月期

通期決算説明資料

ノバシステム株式会社

証券コード 5257

2026年2月13日

INDEX

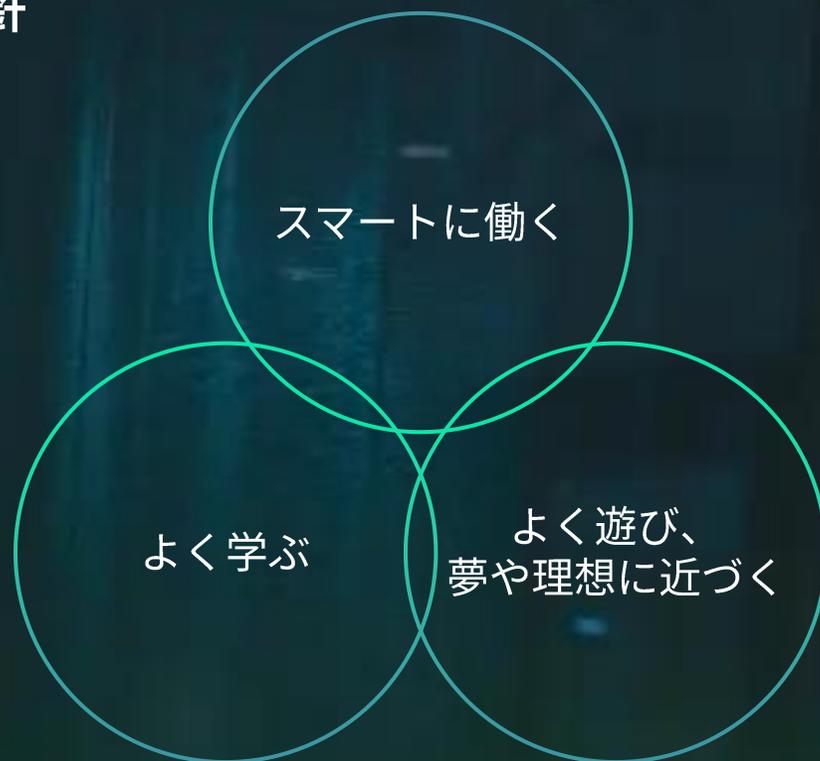
- 01** エグゼクティブサマリー
- 02** 2025年12月期 決算概要
- 03** 2026年12月期 業績予想
- 04** 推移表

エグゼクティブ サマリー

01

挑戦は未来を変える

行動指針



Work Smart

Learn Well

Play Hard



nova system

think,challenge,advance

主なターゲット

保険会社・金融機関
などエンタープライズ
企業がメイン

リソースの特徴

業界慣習を理解した
深い専門性

システム開発

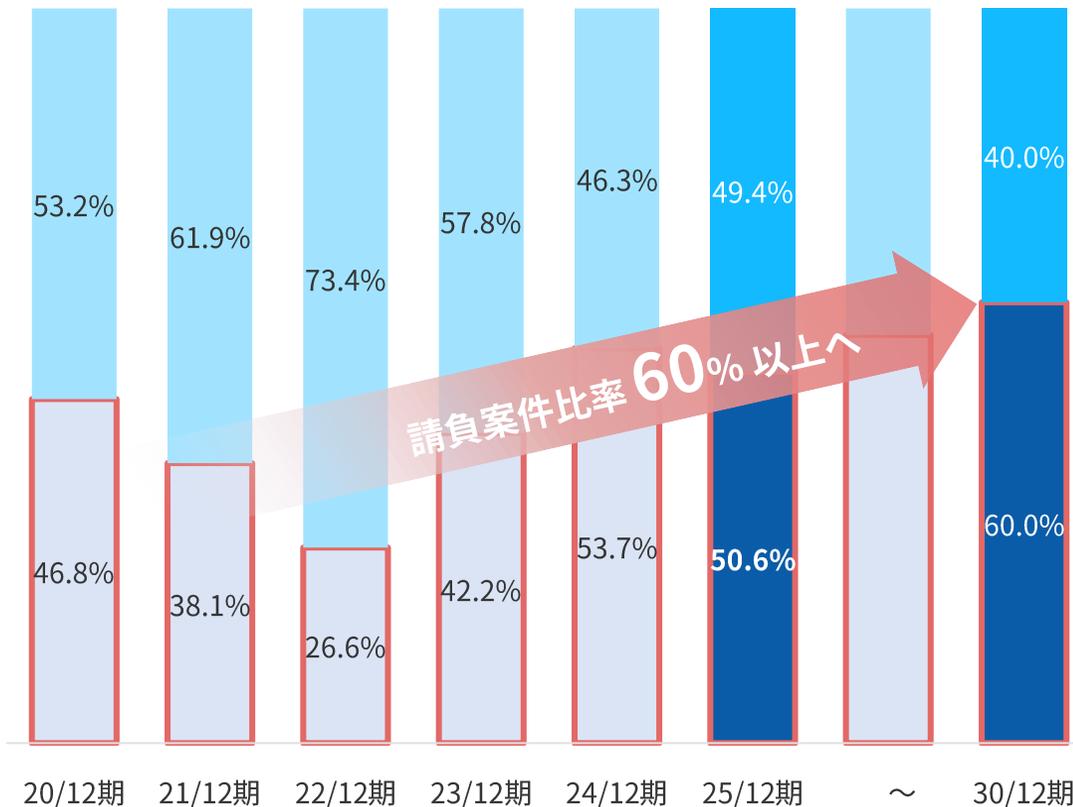
不足する優秀な
DX人材を中心に増員し
システム開発を提供

2030年までに営業利益率15%を目標

利益改善余地の大きい請負案件比率を現在の50%台から60%へ増加させ収益性の向上を図る

● 売上高における案件比率

□ 請負案件比率 □ 準委任案件比率



● 業績

	2025年12月期	2030年12月期 目標
売上高	6,716 百万円	15,000 百万円
営業利益	324 百万円	2,250 百万円
営業利益率	4.8 %	15 %

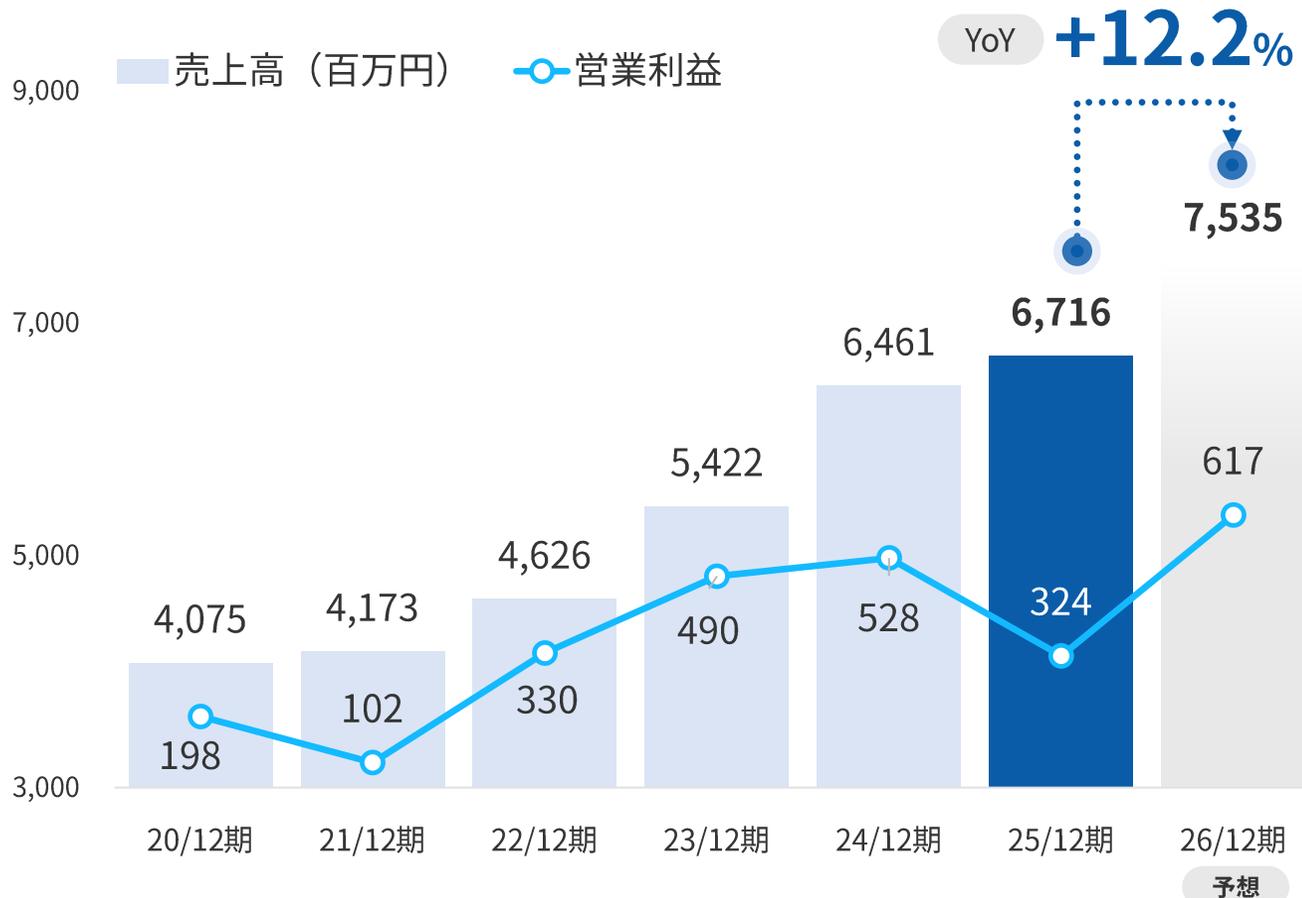
● 主要KPI

	2025年12月期	2030年12月期 目標
請負案件比率	50.6 %	60 %
AIエンジニア	40 人	100 人

2025年12月期は不採算案件が要因となり一時的に減益となった

2026年12月期は上半期に不採算案件の正常化が進むことで従来の利益率水準へ回帰する予定

● 売上高と営業利益の推移



2026年12月期 予想

利益は約1.9倍を計画

売上高	7,535 百万円	+12.2% YoY
営業利益	617 百万円	+90.3% YoY
当期純利益	442 百万円	+89.0% YoY

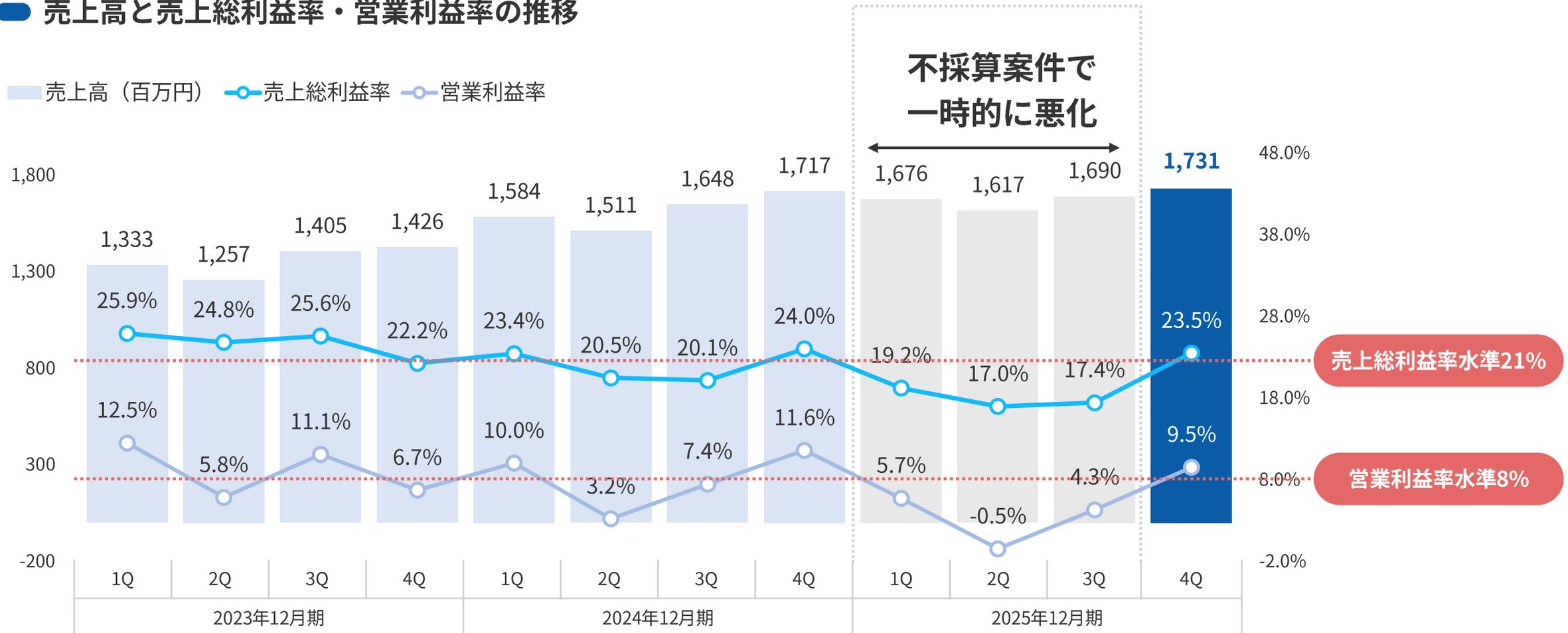
2025年12月期 実績

不採算案件が発生し減益

売上高	6,716 百万円	+3.9% YoY
営業利益	324 百万円	-38.5% YoY
当期純利益	234 百万円	-40.7% YoY

不採算の請負案件による影響で第1四半期～第3四半期で売上総利益率・営業利益率が低下 通常であれば売上総利益率21%、営業利益率8%程度が本来の利益率水準であり足元で回復傾向

売上高と売上総利益率・営業利益率の推移



当社所属セクターにおける類似上場企業と比較し、一時的に営業利益率は低迷
不採算案件の正常化、AI活用による生産性向上で業界平均を超える10%以上の営業利益率を目指す

● 当社と業界の利益率差



① AIテーマ案件の受注拡大

② AIを活用した開發生産性向上

① AIテーマ案件の受注拡大

2025年12月期での受注実績
地方銀行：与信相談票作成AI

② AIを活用した開發生産性向上

社内のR&Dで成果確認済み
テスト用データのAI生成
開発コードのAI生成

AWS・Azure・CRMプラットフォーム等の高度先端案件の需要は高まりエンジニア単価も高い
成長市場でシェアを高め、エンジニア単価の向上を図る

これまで

従来型案件

顧客保有のハードウェアでシステムを
構築・運用する従来型のシステム開発

これから

高度先端案件

AWS、Azure等を活用した高度先端開発

エンタープライズ企業においてもクラウド案件の需要が増加傾向

単価

低い

単価

高い

AIエンジニア数

100名以上へ

現状：40名

2025年12月期 決算概要

02

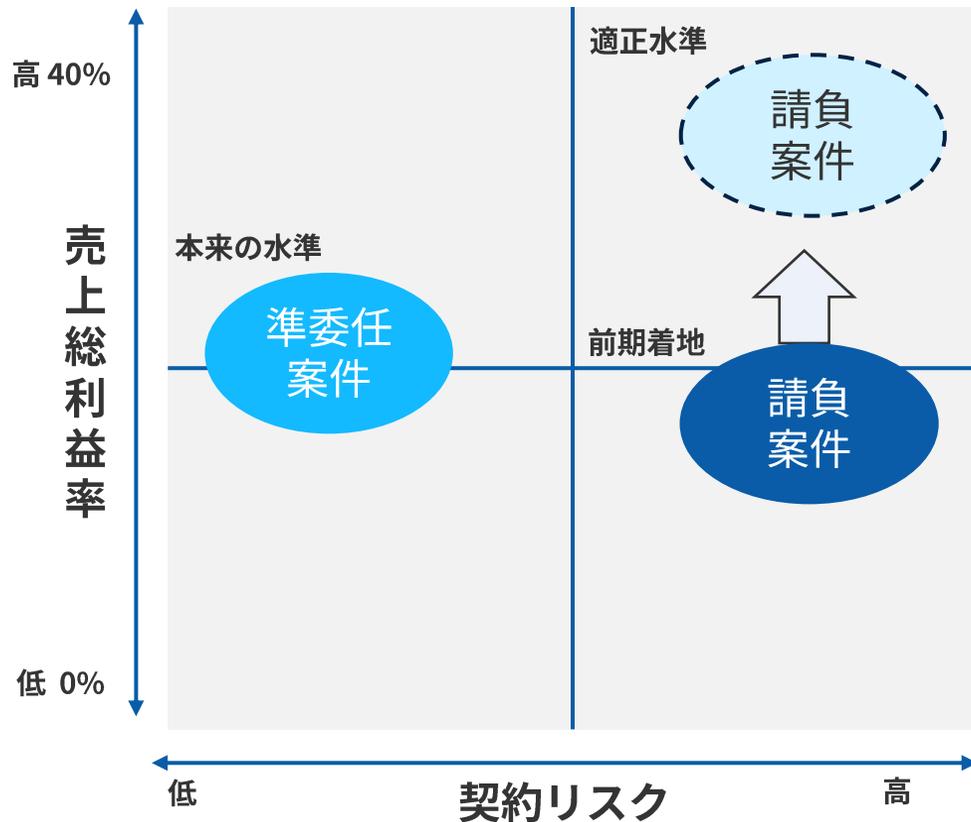
通期売上高は順調に成長

不採算案件により一時的に営業利益が減少したものの今後は回復する計画

(百万円)	2024年12月期 通期実績	2025年12月期			
		通期実績	YoY	修正計画	計画達成率
売上高	6,461	6,716	3.9%	6,666	100.7%
└請負案件	3,423	3,340	△2.4%	-	-
└準委任案件	2,946	3,266	10.9%	-	-
└クラウドサービス	91	108	18.6%	-	-
売上総利益	1,424	1,296	△9.0%	1,285	100.9%
営業利益	528	324	△38.5%	298	109.0%
営業利益率	8.2%	4.8%	△3.4pt	4.5%	+0.3pt
経常利益	551	363	△34.0%	339	107.3%
当期純利益	394	234	△40.7%	209	111.6%

本来は請負案件の方が売上総利益率が高く売上総利益改善の余地も高いが、
前期は不採算案件の影響から一時的に準委任案件を下回る水準となった

● 請負案件・準委任案件のリスク・利益率イメージ



請負案件

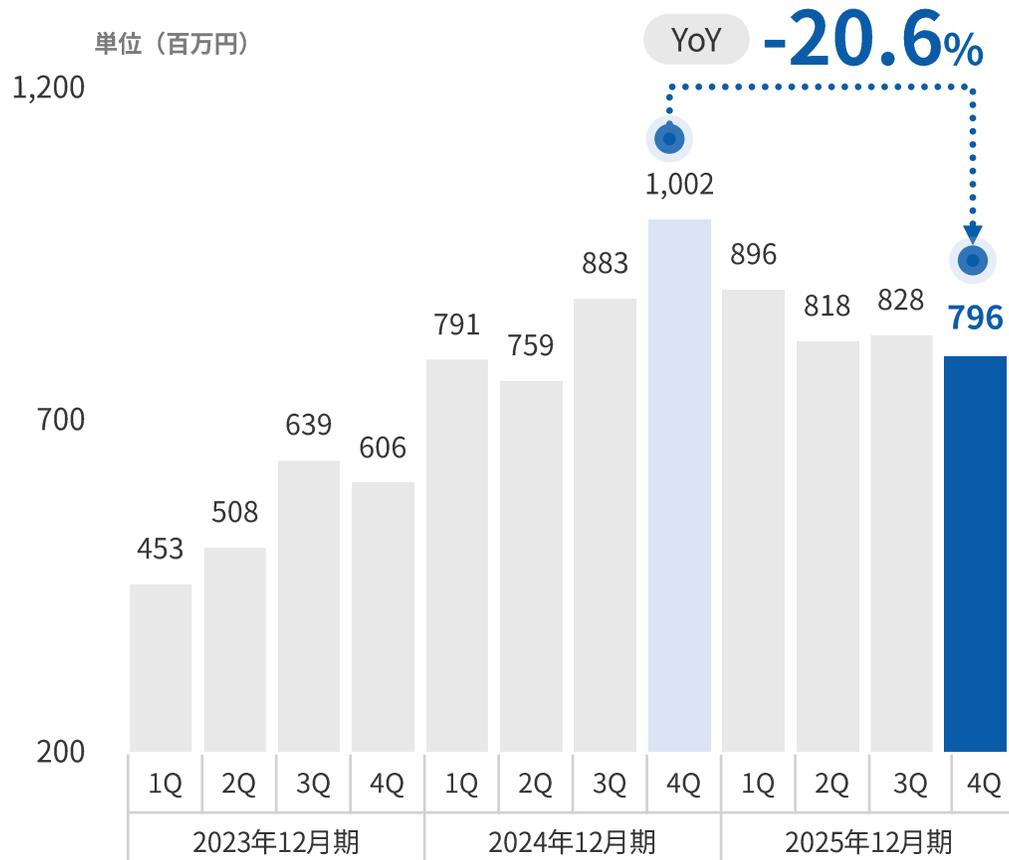
<p>売上総利益率</p> <p>2025年12月期実績</p> <p>14.7%</p> <p>適正水準 35.0%</p>	<p>売上計上</p>	<p>収益認識基準適用</p> 
	<p>顧客</p>	<p>保険会社などエンタープライズ企業が顧客</p> 

準委任案件

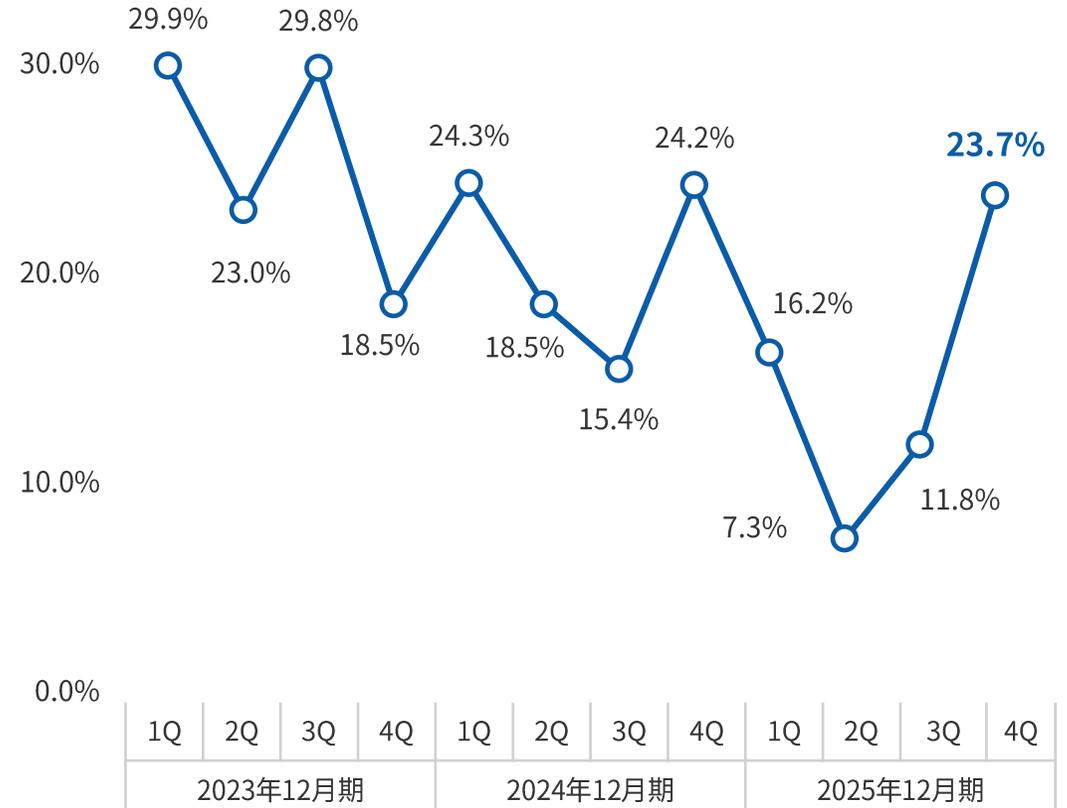
<p>売上総利益率</p> <p>2025年12月期実績</p> <p>25.6%</p> <p>適正水準 26.0%</p>	<p>売上計上</p>	<p>毎月の売上計上</p> 
	<p>顧客</p>	<p>様々な顧客規模層</p> 

請負案件の売上高が前年比で20.6%減少、請負案件売上総利益率は23.7%へ回復
 今後は2024年12月期の水準まで回復させる計画

請負案件の売上高

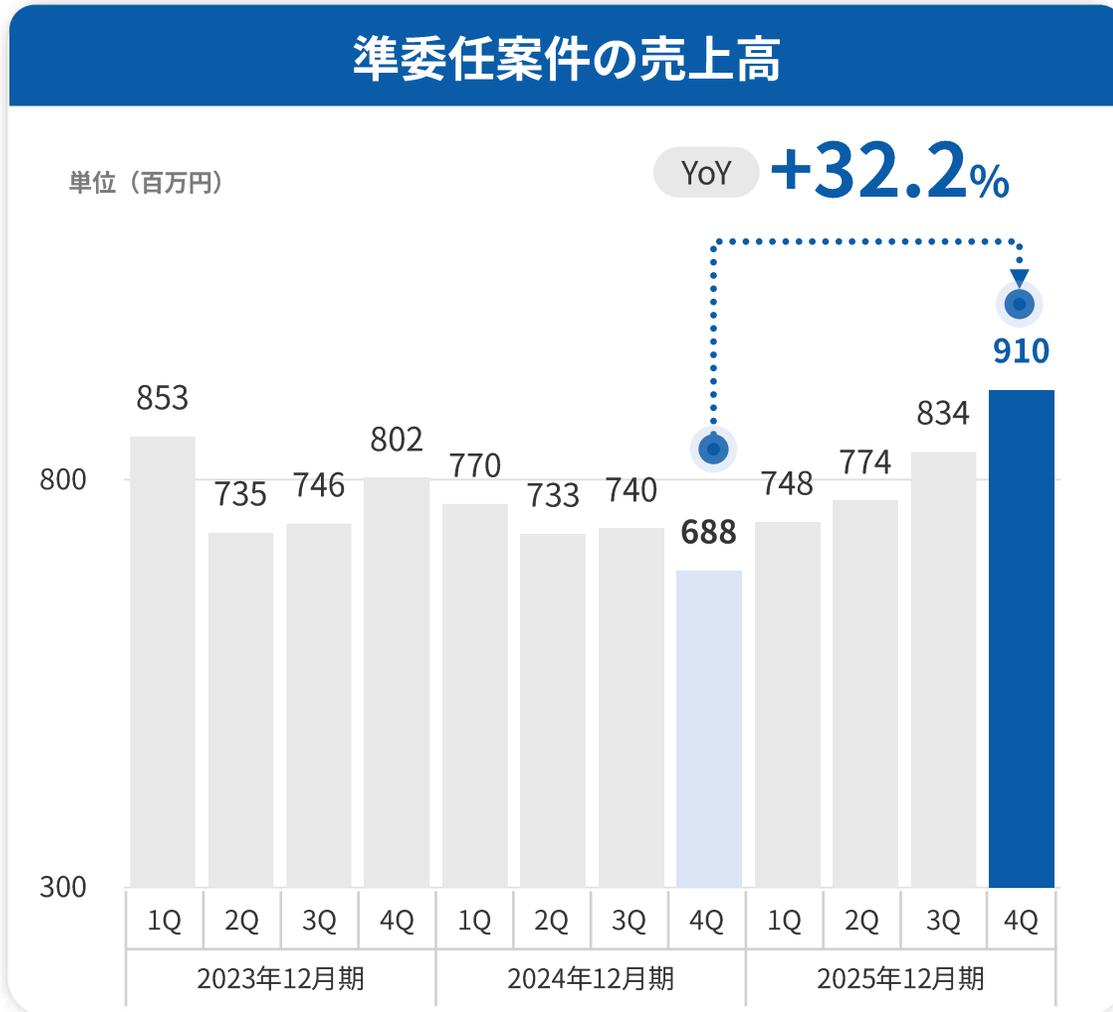


請負案件の売上総利益率

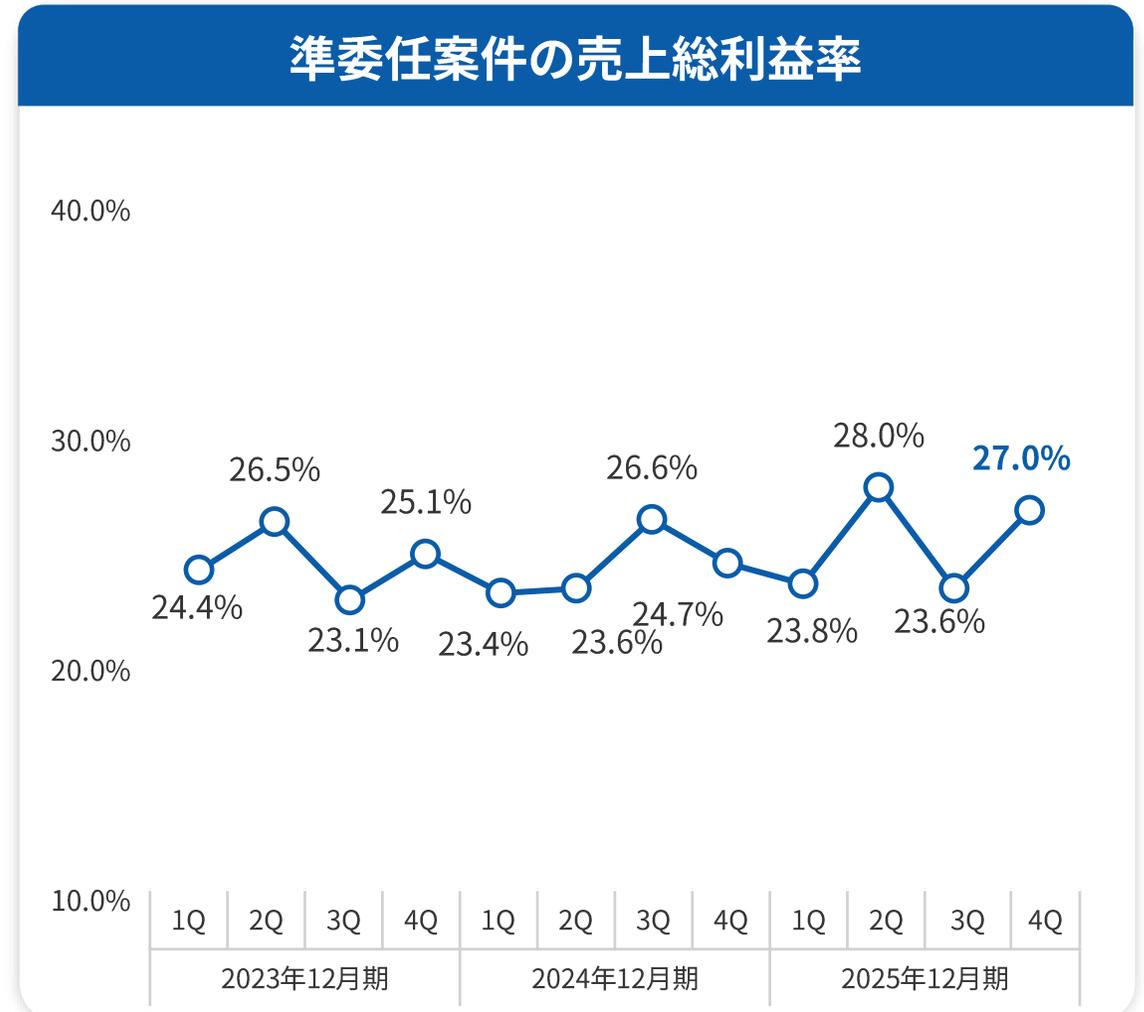


準委任案件の売上高が前年同期比で32.2%増加、準委任案件売上総利益率は27.0%へ回復
請負案件を含めた全体売上高の成長に伴い、準委任案件売上高も成長させる計画

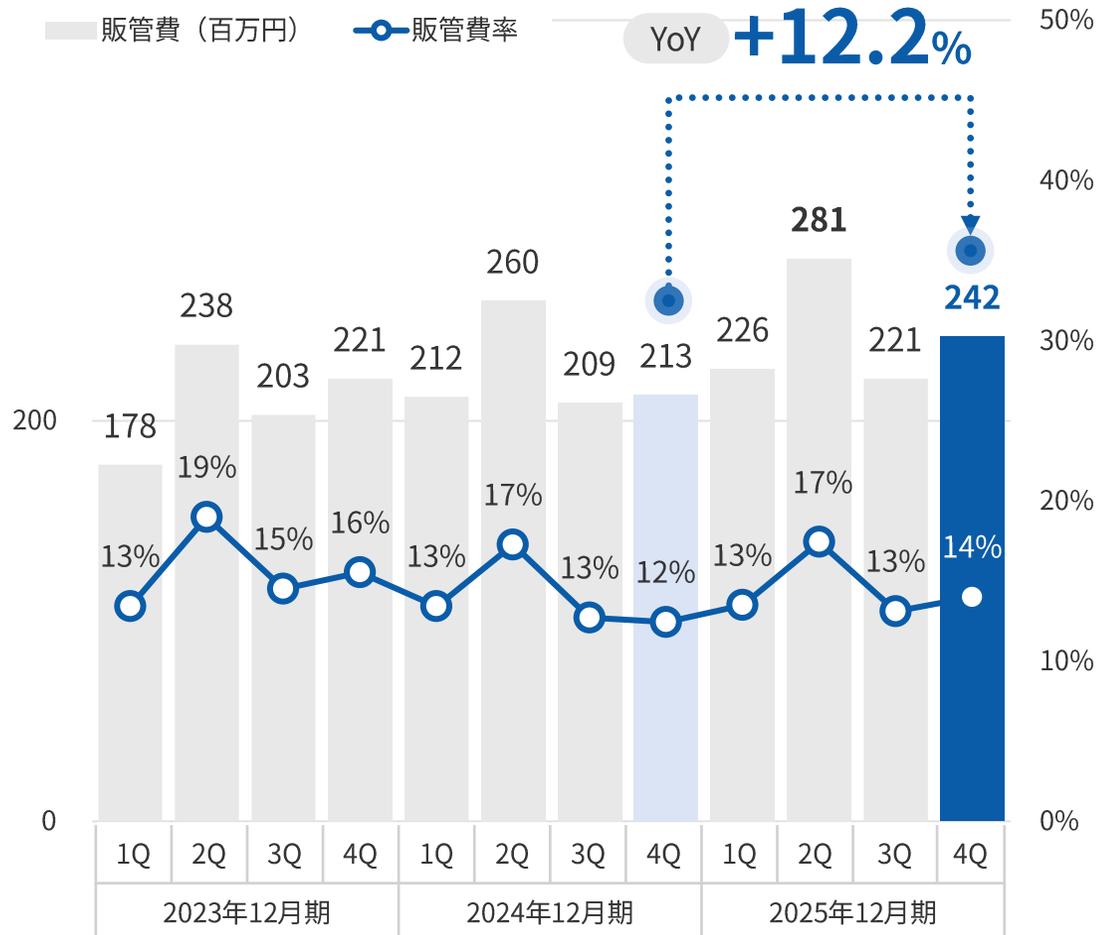
準委任案件の売上高



準委任案件の売上総利益率



毎期第2四半期は新入社員採用・教育研修のため販管費が増加 今後も同様の傾向が継続する見込み



① 新卒社員の採用・教育

毎年4月～6月に新卒社員の入社に伴う教育、研修費用が発生
7月より安定するが全社的な教育費、中途採用費により漸増傾向

② 増員によるオフィス増床

採用増加、組織強化のためにオフィスを増床
2026年12月期第1四半期にオフィス移転関連費用が発生



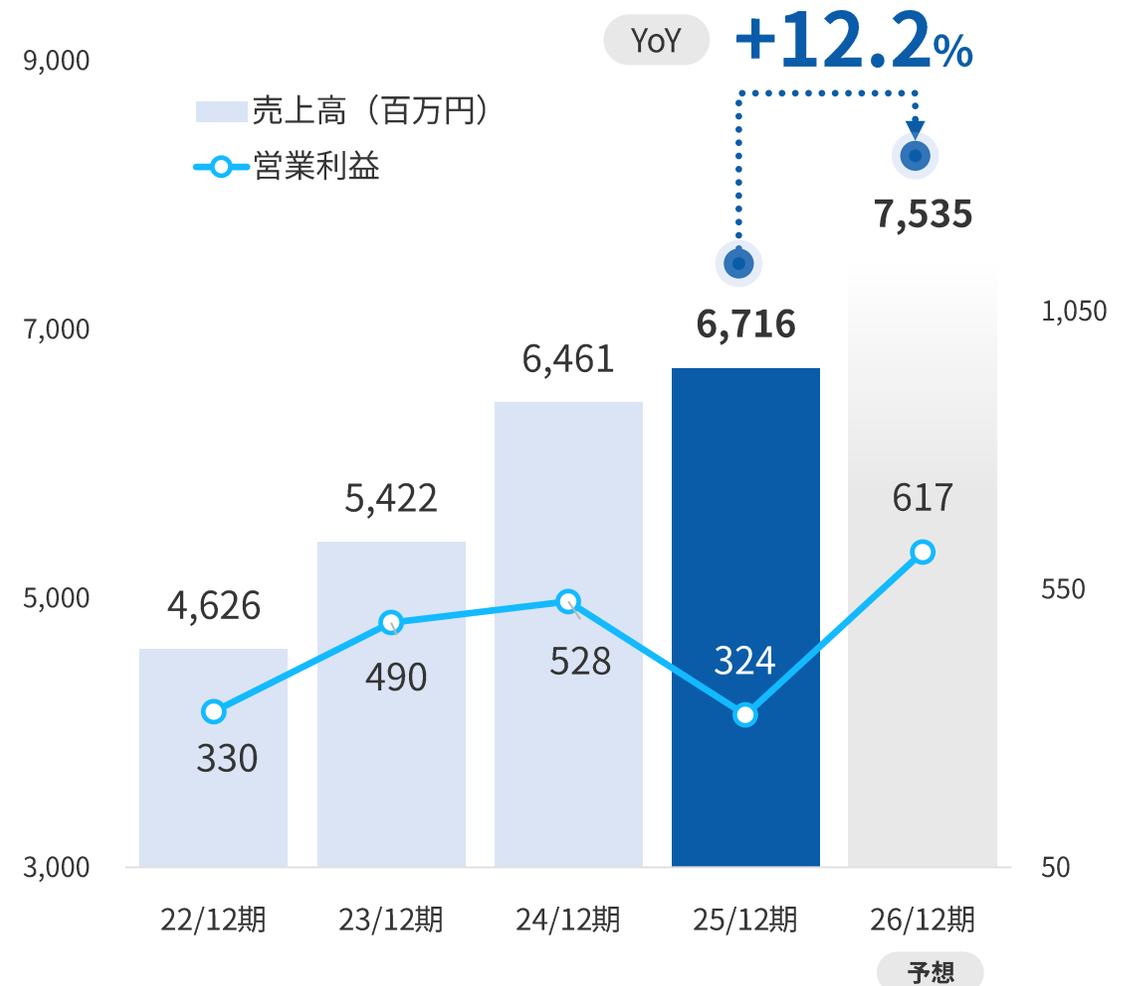
2026年12月期 業績予想

03

売上高：前期比+12.2%で成長

営業利益率：上期に不採算案件の正常化を見込むことから8.2%を目指す

(百万円)	2025年12月期 通期実績	2026年12月期	
		通期計画	YoY
売上高	6,716	7,535	12.2%
↳請負案件	3,340	3,851	15.3%
↳準委任案件	3,266	3,554	8.8%
↳クラウドサービス	108	130	20.0%
売上総利益	1,296	1,715	32.3%
営業利益	324	617	90.3%
営業利益率	4.8%	8.2%	3.4pt
経常利益	363	660	81.6%
当期純利益	234	442	89.0%



不採算案件は2026年12月期上期に正常化する見込み 早期に正常化する可能性もある一方で、長期化するリスクも残る

不採算案件の正常化

影響：大

- ・ 上期に正常化する見込みを想定
現状、不採算案件により全体の売上総利益率が低下
- ・ 2025年12月期を通じて回復に努めた結果、
正常化の目処は立っている状況
- ・ 想定通りに進めば、下期より売上総利益率改善の見込み

請負案件比率

影響：中

- ・ 不採算案件を除く請負案件平均売上総利益率は25%以上を前提
2025年12月期第1四半期～第3四半期においては不採算案件の影響で10%後半
- ・ 請負案件で全体の52%の比率を維持する計画
今後は徐々に請負案件比率を高め2030年に60%へ
- ・ 大型案件の請負案件を獲得し収益へ貢献

採用などリソース計画

影響：小

採用計画

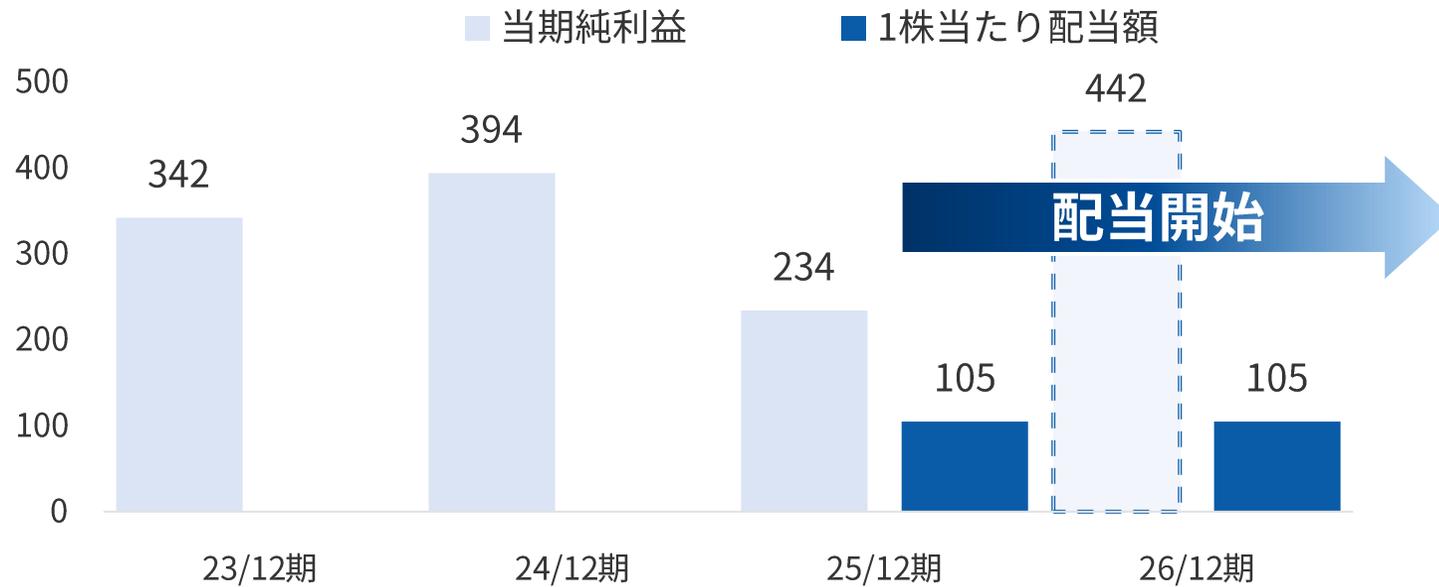
- ・ 新卒採用：25名
- ・ 中途採用：60名

採用計画を下回った場合

- ・ 外部リソースで代替するため、売上高への影響は軽微
- ・ 売上総利益率が想定を下回る可能性あり
- ・ 採用費縮小により営業利益への影響は結果的に小さい

2026年12月期の配当額は105円を予定、配当性向30%を目安に算出

2025年12月期は期中に業績を下方修正したが、配当額は期初予想105円を維持



株主還元方針

105円

配当性向30%を目安に
下回らないように設計

(百万円)	2023年12月期	2024年12月期	2025年12月期	2026年12月期
当期純利益	342	394	234	442
配当性向	-	-	62.6h%	33.3%
配当額	0	0	105円	105円

推移表

04

● 貸借対照表

(百万円)	2024年12月期末	2025年12月期末	
		実績	増減
流動資産	2,189	1,994	△194
現金及び預金	758	732	△26
売掛金及び契約資産	1,374	1,198	△175
その他	56	63	7
貸倒引当金	△0	△0	△0
固定資産	1,541	2,093	551
有形固定資産	966	1,353	387
建物、構築物	695	899	204
工具、器具及び備品	30	30	0
土地	222	411	188
建設仮勘定	10	-	△10
その他	8	12	3
無形固定資産	10	6	△4
投資その他の資産	563	732	168
投資有価証券	362	508	146
その他	201	223	22
資産合計	3,730	4,087	357

(百万円)	2024年12月期末	2025年12月期末	
		実績	増減
流動負債	1,043	1,042	△0
買掛金	211	193	△18
1年内返済予定の長期借入金	308	376	68
その他	523	473	△50
固定負債	452	492	39
長期借入金	320	307	△13
資産除去債務	33	48	15
その他	98	136	37
負債合計	1,496	1,535	39
株主資本	298	298	-
資本準備金	286	286	-
利益剰余金	1,439	1,661	222
自己株式	-	△6	△6
その他 有価証券評価差額金	210	312	101
純資産合計	2,233	2,551	317
負債・純資産合計	3,730	4,087	357

● 損益計算書

(百万円)	2025年12月期 通期実績	YoY 前年同期比	過去実績	
		増減比	2024年12月期	2023年12月期
売上高	6,716	3.9%	6,461	5,422
システムインテグレーション	6,607	3.7%	6,370	5,346
クラウドサービス	108	18.6%	91	76
売上原価	5,419	7.6%	5,037	4,088
売上総利益	1,296	△9.0%	1,424	1,333
販管費	972	8.4%	896	843
営業利益	324	△38.5%	528	490
営業利益率	4.8%	△3.4pt	8.2%	9.1%
営業外収益	50	81.9%	27	18
営業外費用	11	137.0%	4	25
経常利益	363	△34.0%	551	483
当期純利益	234	△40.7%	394	342

本資料の作成に当たり、当社は当社が入手可能な統計等第三者情報についての正確性や完全性に依拠し、前提としていますが、その正確性あるいは完全性について、当社は何ら表明及び保証するものではありません。

発表日現在の将来に関する前提や見通し、計画に基づく予想が含まれている場合がありますが、これらの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその達成を約束するものではありません。

当該予想と実際の業績の間には、経済状況の変化やお客様のニーズ及び嗜好の変化、他社との競合、法規制の変更等、今後のさまざまな要因によって、大きく差異が発生する可能性があります。